

# Quarterly TAKACHIHO

広報誌「Quarterly」100号へのカウントダウン

高千穂大学広報誌

【クォーターリー高千穂】  
Vol. 100  
Winter 2025

## ありがとう 創刊100号記念



## ANNIVERSARY ISSUE



高千穂大学  
父母の会  
黎明  
-REIMEI-  
60号

TAKACHIHO  
NEWS



3/29

### 恩蔵ゼミ(商学部)が委託研究で 7年連続奨励賞を受賞

恩蔵ゼミは、こくみん共済coop(全労済)主催の委託研究に取り組み、今回は顧客体験価値(Customer Experience: CX)に注目し、共済団体が取り組むべきテーマを選定しました。今年も研究成果が認められ、7年連続で奨励賞を受賞しました。



受賞した恩蔵ゼミのみなさん

10/15

### 学生表彰

天野大輝さん(商学部4年、小平南高校出身、楠美ゼミ)と渡部大起さん(商学部4年、舞岡高校出身、楠美ゼミ)がファイナンシャル・プランニング技能検定2級に合格し、寺内学長から賞状と副賞が授与されました。



写真:左から寺内学長、渡部さん、天野さん、楠美商学部長

10/19-20

### 第59回高千穂祭を開催

今年の高千穂祭は「響祭」をテーマに、縁日、脱出ゲーム、よさこい鳴子踊り、お笑いライブ(マユリカ、蛙亭、大自然)などが行われ、入場者は約1,947名となりました。また、文連フェスタも高千穂祭と共催で行われました。



10/30

### 永井ゼミ(商学部)の 産学連携活動

永井ゼミは韓国プリクラ最大手のPhotoism社との4ヶ月に亘る産学連携活動を実施しました。4チームが商品開発、SNSプロモーション、店舗イベント企画・実施、販売などにチャレンジし、Pinky Sportsをテーマに企画した2班が1位に選ばれました。



産学連携に参加した永井ゼミ生とPhotoism社の皆様

11/4-8.23

### 2024年度ゼミナール発表会& ゼミ連50周年記念祝賀会

今年度のゼミナール発表会には通常発表に122班(内、プレゼンコンテスト4班)が参加しました。同コンテストの最優秀賞は経営学部小林ゼミのリーダーシップ班、優秀賞は商学部の齋藤典晃ゼミのZ世代班が受賞しました。また、ゼミナール連合本部発足50周年を祝い、記念祝賀会が行われました。



(左)最優秀賞の小林ゼミ、優秀賞の齋藤典晃ゼミ  
(右)ゼミ連50周年記念祝賀会

11/26

### 堀越高校と教職インターンシップ に関する覚書調印式

教職課程学生の学校現場でのインターンシップ実施のため、堀越高校と覚書を締結しました。2025年度からは堀越高校(中野区)、保善高校(新宿区)、区内小学校4校(済美、浜田山、杉並第二、高井戸)への派遣が可能です。



写真左から4番目が堀越高校掛本寿雄校長、左から3番目が同校和田考司進路指導部長、右から3番目が寺内学長

### ACCESS



Quarterly  
TAKACHIHO  
【クォーターリー高千穂】  
Winter 2025 Vol.100



バックナンバーはこちら

●編集長 渡邊 均  
●委員 坂田 利康  
連見 信希

●編集・印刷 orange corporation

クォーターリー高千穂設置場所  
図書館(1階)、3号館(1階)、4号館(1・2階)、情報メディアセンター、CS(1・2・3・4階)

### ご意見・ご要望などを募集します

高千穂大学・広報誌(Quarterly TAKACHIHO)をご覧いただきまして誠にありがとうございます。広報誌では皆さんからご意見やご要望などを募集しております。お気軽にメールにてお知らせください。お待ちしております。

連絡先メールアドレス  
koho@takachiho.ac.jp

高千穂大学ソーシャルメディア公式アカウント





# 祝!広報誌 Quarterly TAKACHIHO 創刊100号!!

2004年5月1日に記念すべき第1号が発行されてから20年。  
この度ついに創刊100号を迎えました。  
これまでたくさんの学生たち、たくさんの先生たち、そしてたくさんの大学職員たちが育んできた  
私たちの自慢すべき広報誌です。お祝いのメッセージ、広報誌の歴史を特集で紹介します。  
次の100号も、ぜひ応援してください。



## CONTENTS

### FEATURES

- 03 祝!広報誌Quarterly TAKACHIHO  
創刊100号!!
- 04 祝 創刊100号記念  
お祝いメッセージSpecial
- 08 新年の御挨拶
- 10 第59回 高千穂祭&  
2024年度ゼミナール発表会  
開催報告

### REGULARS

- 12 高千穂ゼミナール紹介 私のゼミへようこそ!
- 14 高千穂生の就職活動をサポート! 就活情報ナビ
- 15 留学体験Report
- 16 第29代 学友会本部 新役員紹介
- 17 This is my former high school! 私の母校を紹介します!
- 18 GRADUATE INTERVIEW
- 19 TAKACHIHO INFORMATION  
高千穂大学 父母の会 黎明 60号

# 祝「クォーターリー高千穂創刊100号」

2024（令和6）年度、冬号をもって「クォーターリー高千穂」は、創刊100号を発行することとなりました。

2004（平成16）年5月春号の発行（第1号）以来、20年が経過致しました。第1号発行の1年前、2003（平成15）年は、高千穂学園創立100周年であり、これも一つの契機とし、従来の「マンスリー高千穂」から、新たな「クォーターリー高千穂」の発刊となりました。「マンスリー高千穂」は、1972（昭和47）年8月に、第1号が発行されることになりましたが、これは、小池厚之助元理事長をはじめとする本学卒業生有志の方々による学園再建が着手された1965（昭和40）年から7年後のことです。

渡邊均入試広報部長及び、坂田利康広報課長の御努力により、発行することができております。改めてお二人をはじめとする広報課員の方々に御礼申し上げます。本学の主要な広報誌の一つである「クォーターリー高千穂」が、さらに充実されますよう御祈念致します。

2025（令和7）年1月吉日

高千穂学園 理事長  
藤井 耐



「クォーターリー高千穂」もその一つでございます。

現在の「クォーターリー高千穂」は、

## 創刊200号に向けて

「クォーターリー高千穂」創刊100号を迎えられたとのこと、おめでとうございます。私が本学に奉職したのが平成10（1998）年の4月で、その時の広報誌は「マンスリー高千穂」という月刊誌でした。それが季節ごとの「クォーターリー高千穂」に平成17（2005）年に生まれ変わりました。その新しくなった「クォーターリー高千穂」第3号の編集委員の欄に私の名前があることに気がつきました。当時、刊ごとに編集を行っていたことを懐かしく思います。その第3号を見ると、最新の「クォーターリー高千穂」第99号と同じようにゼミ活動をはじめとした大学のさまざまな最新状況の報告があります。さらに、その第3号には高千穂の創世期のことが記載されています。今から約20年前になりますので、時の経つのは本当に早いものだと実感しています。

は発信方法です。当時は紙媒体でしたので、読者が非常に限られていたのが、今は紙媒体と同時にオンラインで発信することが可能になりました。読者は学生をはじめとした大学関係者だけでなく、国内外にまで無制限に広がっているのです。大学発信の情報源である「クォーターリー高千穂」もその時代に即した形で、200号発刊に向けてさらに大きく飛躍することを心より願っております。

高千穂大学 学長  
寺内 一



こうして、月刊誌から季節ごとのクォーターリーに形が変わっても、高千穂大学が発信する広報誌の役割は変わるものではありません。しかし、当時と大きく異なったことがあります。それ

高千穂大学広報誌 Quarterly TAKACHIHO

# 祝 創刊100号記念

Commemorating the 100th issues

# お祝いメッセージSpecial

### これからも愛される広報誌で!

創刊100号おめでとうございます。これまでの発行に携わった皆様の企画・編集等にご尽力されたこと、深く感謝いたします。「クォーターリー高千穂」は、高千穂大学の情報・魅力を発信する役割を担い、多くの方々に読まれてきました。読んでもらえる広報誌を作り続けるということは、様々な苦労もあるかと存じます。これからも大学の情報・魅力を伝え続け、より一層愛される広報誌となることを期待しています。



事務局長  
松崎 健

### 100号おめでとうございます!

この度は、創刊100号を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。創刊以来20年もの間、多くの学生や卒業生の皆様が本誌を通じて大学の様々な活動や出来事に触れ、繋がってきたことに感謝いたします。私はまだ学生生活の途中ですが、本誌を読むことで大学の歴史や日々のニュースを知ることができており、私の友達が紹介されている時もあります。今後も新たな100号に向けてさらなる発展を遂げることを願っています。



学生会会長  
相馬 真斗  
経営学部 企業経営コース 3年  
小川高校出身  
竹内慶司ゼミ

### 後年に残せる意義のある 広報誌であり続けてほしい

24年前に入職して以来、クォーターリー高千穂で学生のみなさんや教職員のみなさんの情報を楽しく拝見しております。高千穂大学の「主役」である学生のみなさんの生き生きとした姿を発信すること、そしてそれを20年、30年と残していくことは、本当に意義のあることだと思います。これまでクォーターリー高千穂に関わってこられたみなさまに感謝申し上げるとともに、これからも高千穂大学の有用な情報を発信し続けていただけるようお願いいたします。



副学長 教授  
西山 徹二

### ここが通う大学を 広報誌で発信していきます

本誌の第1号創刊(2004年1月)から20年余り、これまで多くの諸先輩、先生、在学生の皆さんからのご寄稿に、心より感謝申し上げます。私は平成元年3月に本学を卒業し、旅行会社での営業職を経て、本学事務職員として14年目を迎えました。学生時代を振り返ると少人数教育の証である「講読演習(現ゼミ)」や「専門ゼミ(心理学)」での研究活動やその仲間たちとの思い出が鮮明に甦ります。当時、私を育てて頂いたことへの恩返しをすべく、常に学生に寄り添うことを念頭に引き続き「ここが通う大学」を発信してまいります。



クォーターリー高千穂  
編集委員長  
入試広報部部長  
渡邊 均

### クォーターリー高千穂 創刊100号おめでとうございます

長きに亘り保護者と大学を結ぶ創刊100号おめでとうございます。毎号自宅に送っていただき親子共々拝読させていただいております。高千穂大学の今を知る上で貴重な情報源として活用させていただいております。時代の変化に伴い親世代では考えられなかった子供達のキャンパスライフも感じ取ることが出来ます。これからも高千穂大学の情報発信を担いタイムリーな情報をより多くの人々に伝えること期待しております。



高千穂大学  
父母の会会長  
杉本 義則

### 祝 クォーターリー高千穂 創刊100号

早いものでクォーターリーが創刊されて20年の歳月が過ぎ、なんと100号となりました。誠にありがとうございます。新旧関係各位のご努力に感謝致します。主に在学生とその保護者の方々にお届けすべく創刊されたと聞いています。同窓会としても毎号卒業生のインタビュー記事を掲載頂いております。クォーターリーの良さは何と云っても、直近情報満載の「フレッシュさ」です。この「フレッシュさ」を維持し、ここにある「高千穂の素晴らしさ」をさらに外部に発信していただける事を期待しております。



高千穂学園  
同窓会会長  
寺尾 誠

# Quarterly TAKACHIHO 100号の歴史

2004年の創刊から20年！  
休むことなく刊行してきた100号分の  
Quarterlyの変遷と、共に歩んできた大学の歴史、  
世相をご紹介します。

## 大学のあゆみ

- 2004年 1月 中国人事科学研究所との共同研究書締結
- 2007年 4月 人間科学部人間科学科人間科学専攻・児童教育専攻設置
- 2011年 4月 大学基準協会認定評価認定 経営学部経営法務コース設置
- 2015年 7月 一号館(教室棟)竣工
- 2016年 4月 人間科学部人間科学科人間科学専攻コース制開講(社会・ライフデザインコース/心理コミュニケーションコース)開講
- 2017年 4月 経営学部経営学情報コース開講 商学部観光地域プログラム設置 七号館体育館実習教育棟竣工
- 2018年 11月 カナダビクトリア大学との海外留学提携
- 2020年 5月 高千穂学園創立120周年 登戸総合グラウンドクラブハウス竣工
- 2024年 4月 商学部に金融人材育成プログラムを設置



ここが学園広報誌の起源！

1972年8月  
高千穂学園121年の歴史のなかで、初めて登場した広報誌は大学新聞「マンスリー高千穂」新聞の形式で、名前の通り毎月発行されました。

1977年7月  
次に登場したのは「学園だより」これはマンスリー高千穂と並行して発行された広報誌でした。

クォーター高千穂スタート！

## VOL.1 創刊号

変形A4、2色刷りでスタート！名前の通り年4回発行。トップ記事は大学基準協会相互評価による初認定について。



## VOL.21



VOL.21  
これまで年4回発行が年5回(卒業記念号)へ

特集も充実！

## VOL.63

特集は「高千穂大生の夏のキャンパスライフ ONとOFF」。秋の高千穂祭やゼミナール発表会に向けての学生活動を大きくフィーチャーしました。



デザインが新しくなった！

## VOL.47

紙面が全面リニューアル!! デザインもオシャレに。



サークルも紹介！

## VOL.72

新入生に向けての「クラブ&学生団体紹介」で、体育会系&文連系の垣根を越えて一堂に会してもらい、魅力を発信してもらいました!!



- 2020年 5月 高千穂学園創立120周年 登戸総合グラウンドクラブハウス竣工
- 2024年 4月 商学部に金融人材育成プログラムを設置



創刊20周年  
VOL.100  
これからも大学の最新情報を紹介していきます！

- 2004年 韓流ブームで「冬のソナタ」大人気
- 2005年 クールビズが環境省主導で始まる
- 2006年 トリンオリンピックで荒川静香がフィギュアスケートで日本人初のメダル
- 2007年 東京ミッドタウンが開業
- 2008年 史上最多4人の日本出身者がノーベル賞受賞
- 2009年 裁判員制度が始まる
- 2010年 小惑星探査機はやぶさ帰還
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリーオープン
- 2013年 富士山 世界文化遺産に登録
- 2014年 消費税が5%から8%に増税
- 2015年 日本人科学者2人がノーベル賞
- 2016年 北海道新幹線開通
- 2017年 藤井聡太が歴代最多連勝記録 羽生善治が史上初の「永世七冠」達成
- 2018年 平昌五輪でフィギュアスケート羽生結弦連覇
- 2019年 元号が平成から令和に改元
- 2020年 新型コロナウイルス感染症の世界的流行
- 2021年 東京オリンピック開催
- 2022年 成人年齢が18歳に引き下げ
- 2023年 WBCで大谷翔平がMVP獲得 日本チーム3大会ぶり3度目の優勝
- 2024年 北陸新幹線 金沢敦賀間開業 パリオリンピック開催

迎春  
「高千穂学園再建  
60周年」

高千穂学園 理事長  
藤井 耐



新年おめでとうございます。本年も園児・学生をはじめ学園関係者全ての皆様方にとり、安寧の1年でありますよう心より御祈念申し上げます。

本年は高千穂学園創立122周年にあたります。我が国私学における伝統校の1つであることをうかがえるのではないのでしょうか。

特に、学生の皆様はこの連続として続く本学の使命・目的を継承する者として一層の誇りと責任感を醸成して頂けるようお願い申し上げます。創立者の説かれる建学の精神・教育理念である「学風の指針」と「学風の目標」は私たちに本学学生としての行動原理を御呈示されると同時に人間として生命有限の人生を歩むうえで行動原理を指し示されているとも言えるものです。私達人間はそれぞれ程度の差こそあれ、また意識しているか、否かはともかくとして将来への希望と同時に、日々、精神的・心理的苦悩・不安等を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を生きて、「今」を繰り返して、「歳月」を積み重ねていくこととなります。

学生の皆様も現在本学学生として、また青年期を生きる者として、あるいは、御家庭での長男・次男、長女・次女等として様々な苦悩・不安を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を歩まれているものと思います。疲れることもあるでしょう。時には、逃避したいと思われることもあるでしょう。

しかし、約80年間という生命有限の人生「半歩」の歩みを継続して下さい。「努力の継続性」による「歳月の積み重ね」が、「人間としての成長」を育み、徐々にではあるかも知れませんが精神的・心理的に強い逞しさを醸成されていくものと思います。「今」を「真摯に生きること」の大切さを看過しないで下さい。

本学園創立者川田鐵彌先生による「学風の指針」と「学風の目標」を常に私達の日常生活における行動原理として捉えて頂きたいと思えます。2025（令和7）年、新年を迎えるにあたり、改めて川田哲学を見つめて参りたいものです。大学（教育機関）の評価は、学生及び卒業生により決まります。すばらしい学生として成長されますよう期待しております。

尚、本年度は1959（昭和34）年、学園創立者川田鐵彌先生御逝去後、一時の混乱期を経て、1965（昭和40）年、小池厚之助元理事長をはじめとする同窓生有志による学園再建以後60年となります。

学園創立者川田鐵彌先生を第一の井戸を掘られた偉人とするなら、枯渇しかけた井戸に新たな再建の水を注いで頂いた小池厚之助元理事長は、第二の偉人として感謝申し上げたい気持ちでございます。学園関係者一同改めて御確認頂きたいと思えます。

それでは、本年もよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて

高千穂大学 学長  
寺内 一



新年あけましておめでとうございます。この1年が皆様にとって幸多い年になることを心より祈念いたします。ご存知のように、高千穂大学の創立者である川田鐵彌先生は、高千穂学園のルーツとなる高千穂尋常高等小学校を1903（明治36）年に設立し、高千穂学園は昨年度創立120周年を迎えまし

た。長い歴史と伝統を持つ高千穂学園の一員として皆さんが新年を迎えるにあたり、今年も川田先生が理想にされていた人間教育についてお話ししたいと思います。川田先生は、常に教育は真の人間教育でなければならぬと考えられておられました。その川田先生が示された理想の人間像について、蒲沢章夫さん（小・旧中・高商29回）というOBの方が「高千穂学園八十周年記念誌」の28頁に「高千穂学園の思い出」として、以下のように述べられています。

一、「君には忠義、親には孝行、兄弟仲良く、人には親切、自分には誠。」の五訓を基盤に、強制しない、余裕のある人造り教育であったと感銘深いものがあります。時代的差はあっても人間造り（人間性）そのものの成果には違い無いと考えています。…中略…川田鐵彌校長の新制大学設置の提言にもある如く、穩健中正な国民的教養の向上を目的とした学園であることを望む。人間造りは「民主主義の下、互いの人格を重んじ自由を尊び、明朗清新な平和愛好の人士の育成」の意です。

ここで目指されている「人造り」の理想は、本学の学風の目標である「偏らない自由人」気概ある常識人「平和的国際人」にも通じるものです。世界情勢が目まぐるしく変化するなか、まさに時代を超えたメッセージとなっております。そして、ここで語られている蒲沢さんとの思いというのは、私たちが常に目指している高千穂教育の源流そのものであり、川田先生が強調されてきた人間教育は高千穂大学の

た。そして、現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を1914（大正3）年に設立し、ついに、今年度、高千穂大学も設立110年を迎えました。

高千穂学園は120年を迎える歴史の中で、常に人格教育を重視し、実学を通して、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいりました。教育において脈々と受け継がれてきた伝統そのものであると言えるでしょう。新しい年を迎えた今、改めて人間教育ということを再認識していただければ幸いです。

こうして変わらないものがある一方で、大きく変化しているものがあります。その背景にはテクノロジーの目覚ましい進化があります。2020年からの新型コロナウイルス感染症を契機に、遠隔授業が高校や大学などの教育現場でも手軽に行われるようになりました。その結果、時空を超えたコミュニケーションが迅速（瞬時）に行われるようになり、情報交換や対話はスピード感が増しました。皆さんも場所にとらわれず、自分のペースで学ぶことが可能になり、様々な情報へのアクセスも容易になりました。さらにAIの発達はどこまでいくのかまだ予想が付きません。一方で、劇的な人口減少という社会的問題があります。まさに、激動する時代の真つただ中に皆さんはいると言っても過言ではありません。

どのような社会になろうともまさに高千穂大学が伝統として目指す学びの本質（人間教育）は変わるものではありません。しかし、環境にに応じて変化を積極的に受け入れ、様々な手法を取り入れていくという懐の深さもとても大切なことです。両者のバランスをとりながら、時代や社会の変化に対応し、新しいものを積極的に取り入れて、活用し、できることをひとつずつ増やしていきましょう。皆さんにとって実りの多い1年になることを心から願っております。

時代による変貌と50年の軌跡

2024年度ゼミナール発表会は、11月4日(月)から8日(金)の5日間にわたり開催され、無事成功裏に終えることができました。これもひとえに、教務課をはじめ教職員の皆様、そして各ゼミ生が尽力してくださったおかげです。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。今年度は122班が参加し、昨年度同様に完全対面形式で開催されました。運営面では、講師講師コメントシートやアンケートの電子化、会場を3教室に絞るなど新たな工夫を導入。さらに発表時間をコロナ禍以前の25分に戻し、発表内容の充実を図るなど、多方面で注目度向上に努めました。一方、今年度の本部役員は過年度経験者が少なく、私を含む2年生主体の運営となりました。不安もありましたが、発表会を終え、多くの方からお褒めの言葉を

いただきました。大きな手応えを感じています。この背景には、本部役員全員が一丸となり、「高千穂大学の代名詞」ともいえるゼミ発表会を成功させようという強い思いが、今回の成果に繋がったと確信しています。また今年度は、ゼミナール連合本部創立50周年という記念すべき節目の年でもありました。この機会に半世紀にわたる歴史を振り返り、未来を見据える時間を共有できたことは非常に意義深いものとなりました。50年の歴史の重みを感じ、次世代へより良い形で受け継いでいく責任を改めて実感し、これからの一歩を踏み出す覚悟を抱きました。次年度の発表会でも、さらに進化した運営体制のもと、ゼミ生たちの輝きをお届けできるように全力を尽くしてまいります。ぜひご期待ください。

ゼミナール  
連合本部  
委員長



**樋口 凱琉**  
人間科学部 心理・コミュニケーションコース2年  
武相高校出身  
齋藤元紀ゼミ  
学友会本部、ゼミナール連合本部



高千穂祭  
実行委員長



**相馬 真斗**  
経営学部 企業経営コース3年  
小川高校出身  
竹内慶司ゼミ  
学友会本部、高千穂祭実行委員会



第59回高千穂祭を終えて

第59回高千穂祭が10月19日(土)20日(日)の2日間開催され、在学生、卒業生、高千穂幼稚園児およびご父母、近隣住民の方々を含む約1970名にお越しいただきました。今年の高千穂祭テーマは「響祭」とし「想いが響き、もつと沢山の人の高千穂祭を知ってほしい」という願いが込められています。「響祭」のテーマのもと、より多くの方々に高千穂祭を知っていただき、子供から大人まで楽しむことができ、笑顔になれるように準備、運営を行いました。その中でも特に移動動物園、ラックキークジ、メッセージアートは多くの方々に楽しんでいただけました。同時開催した「文運フェスタ」では学術・文化系のクラブが、各部の特色を活かした発表をしたり、ダンスや軽音ライブなどで盛り上がり

ました。また「よさこい鳴子踊り」では学友会本部役員が中心となり、高千穂幼稚園児、同窓会や教職員と一緒に楽しく踊りました。他にも模擬店、お笑いライブ、ピンゴ大会、緑日、スタンブラリーなどが実施され、多くの方々楽しんでいただけました。円滑に高千穂祭を進捗できるか不安でしたが、実行委員一人ひとりが考えながら動いてくれたおかげで、無事に終わることができました。また、来場者の方に労いの言葉をかけていただき、一年間頑張ってきた事が報われたという気持ちでいっぱいです。皆様の想いや笑顔が心に響き、私自身も「響祭」を実感することができました。最後に、高千穂祭開催にあたりご協力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。

教務委員長



**庄司 真人**  
高学部 教授



ゼミナール発表会開催報告

11月4日から8日にかけて、対面形式でゼミ発表会が行われました。本学の特色の一つであるゼミ発表会は、学内最大規模の学術イベントとなります。300人収容教室をフル活用し、47ゼミの全122パート(うちプレゼンコンテスト参加が4パート)の発表が行われました。聴講者も例年と同じく、800人以上に達しました。昨年度は4つの教室を使用しておりましたが、学生の分散が課題となったため、3教室での実施となりました。その結果、多くの学生が複数の発表を聴講することができたと思われ、発表内容もコロナ禍を経て、コミュニケーションにかかわる研究やビジネス展開の研究、あるいはプラットフォームや情報技術の発展に伴う新たな可能性を探る先端的な研究が数多くみられました。この

ような成功に至るまでゼミナール連合本部の役員は連日、打ち合わせ、ポスター掲示準備、15秒CMといった「魅せる仕掛け」の準備に時間を注いでいました。今年度の運営体制は2年生が中心となり、4年生がサポートする体制でした。コロナ禍を乗り越えた中で運営ノウハウの伝承も行われ、次年度に向けた基盤がしっかりと築かれました。特に、2年生の役員たちが3年生として成長する来年には、より良い伝統の発展が期待されます。最後になりますが、2024年度ゼミナール発表会の開催および運営にご協力いただいた皆様、各ゼミナールの学生、聴講いただいた学生、ご指導いただいたゼミの先生方、そして運営を支えてくださった職員の皆様に深く御礼申し上げます。

2024年度の高千穂祭

当日の学生たちの活躍は表に見えるものですが、私にとって印象深いひとコマは、事前の準備にもありました。開催前の夕方、日も暮れたころ、大学から駅までの道の途中、若い女性2人が書類を持って打ち合わせをしていました。暗いから顔

お蔭です。そして今年度は、2日間の来場者数も1900名を超え、昨年を上回る盛況となりました。また、今年も父母の会と同窓会から、それぞれ来場した在学生と卒業生に、高千穂祭で使用できる金券を配付いただきました。本当に多くの方々から支えられ、感謝の高千穂祭でした。

学生委員長



**立石 展大**  
人間科学部 教授



昨年は、新型コロナウイルス感染症による制限のない高千穂祭が開かれ、今年も同様に開くことができたのは、喜ばしいことでした。コロナによる中断やオンライン開催などが挟まったため、上級生から下級生へ、準備・運営の継承が途切れる危機を迎えていました。しかし、2年連続で対面開催できたことにより、高千穂祭の継承も、再び軌道に乗っていくことでしょうか。ここで、軌道に乗せることができたのは、現在の在学生と、昨年度の卒業生、そして学生課をはじめとした学園関係者の皆様のお蔭です。

もよく見えず、何をしているのか少し気になりながら通り過ぎようとする、その2人がそれぞれ住宅のチャイムを押して「高千穂大学で学園祭を開くので…」とインターフォン越しに挨拶を始めた。その時に挨拶回りをしている実行委員の学生であることに気がつきましたが、言葉遣いがとても丁寧で、好感を持てる口調だったことに驚かされました。教員としては、そうした学生の姿に接することができて嬉しかったです。

# 私のゼミへようこそ!



## 歴史のなかに、いまを生き抜くヒントをみつけよう

### ▼ゼミの紹介

我々はなぜ歴史を学ぶのでしょうか。教科書に書いてあることを暗記して終わり、というのが歴史学ではありません。確かに身につけておくべき知識というものはありますが、それは歴史学以外にも多かれ少なかれあることです。

教科書をながめっていると、次から次へと起こる歴史上の出来事は、まるで当たり前の連続のようにも思えてきますが、決してそうではないのです。どんな有名な権力者も、歴史の登場人物はすべて生身の人間であり、いま生きている我々と同じように未来のことをみとおしてはいません。

つまり彼らは不安や迷いのなかでそのつと行動を選択し、成功ばかりではなく、失敗も味わっているわけです。教科書レベルの話でも、ちよつと掘り下げて学びなおすと、そこには生々しい人間のすがたが現れてきます。そこから学びを得ることができるよう、歴史の醍醐味だと言つてよいでしょう。もちろん歴史を知ったところで、現実の世のなかは非常に複雑ですから、



### ▶ゼミ活動の様子

訪問した日はゼミナル発表会の準備をしていました。先生も初めての経験なので入念に準備をされていました(編集部)。

正確に将来を予測することは困難です。成功のためのキーは、歴史からはただちに手に入らないかもしれませんが、それでも、ある状況に置かれた人間がどのような思考や行動をするものなのか、そんな人間が作っている社会はどんな方向へ進む可能性があるのか、考え方の引き出しを増やすことができます。それは、現在の我々が生きていくためのヒントになるでしょう。

と、このゼミで本当に考えてもらいたいことはこんなところです。私は日本史のなかでも中世という時代の専門家でしかありませんが、このゼミではどんな時代、どんなテーマを選んでくられても構いません。私も勉強しながらゼミ生の皆さんをフォローします。

## 日本中世史

歴史のなかから、人間と社会の本質を考えるヒントを探る



商学部 准教授

### 似鳥 雄一ゼミ

担当科目

日本史(古代・中世・近世)、日本史(近代・現代)、ゼミⅠ、専門ゼミ

略歴

早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業  
早稲田大学 第二文学部 歴史・民俗系専修 卒業  
早稲田大学大学院 文学研究科 日本史学コース 修士課程 修了  
早稲田大学大学院 文学研究科 日本史学コース 博士後期課程 修了  
日本学術振興会 特別研究員(DC1)  
早稲田大学 文化構想学部 多元文化論系 助手  
日本学術振興会 特別研究員(PD)  
早稲田大学 文学部 日本史学コース 講師(任期付)

### ▼ゼミを選んだ理由

一年生のときに似鳥先生の授業を受けていて、楽しそうに授業する先生だと思ったのでゼミも楽しそうだと思います、このゼミを選びました。また、高校の時に日本史を専攻していたため、日本史に興味があったのでこのゼミを選びました。(櫻井)

### ▼先生の人柄

似鳥先生は、ゼミ内での貢献などをしっかりと見えています。どんな意見でも否定から入らず、しっかりと聞いてくれます。歴史が好きということもあって、歴史を語らせたら右に出るものはいませんが、歴史以外にも詳しく、どんな分野でも何かしらの知識を持っています。親しみやすい見た目をして

いて、何をしても怒らないのではないかと思つてくらくらく、怒っているところをまだ見た事がありません。(安藤)

### ▼ゼミのSPR

研究内容の決定からスケジュールの計画、グループワークの進行まで各グループの学生が中心となって、盛んにコミュニケーションを取って活動を行うのが似鳥ゼミの良い点です。似鳥ゼミは誰でも楽しく共に研究のできる環境づくりを目指しています。コミュニケーション能力を発揮したい、もっと高めたいと考えている方にはぴったりのゼミだと考えています。(和中)

### ▼現在の研究内容

ギャンブル班と戦国経済班の二班に分かれて活動をしています。ギャンブル班では、昔の日本で行っていた賭博、近現代における賭博について発表を行います。昔は、丁半賭博、闘鶏・闘犬賭博が行われていました。江戸幕府や明治政府は賭博の社会的な悪影響を懸念し、たびたび禁止令を出していました。戦国経済班では、戦国時代をテーマに様々な歴史を一気に紹介します。合戦を行うために武器、食料を調達しなければいけないのですが、一つの合戦でいくらかかるでしょう。答えは、ゼミナル発表会へ聞きに来てください!(三上)

### ▶ゼミの年間スケジュール

4~6月 文献講読。歴史学の専門家が書いた文章を、ゼミ生が全員で分担して読みすすめ、理解を深めていきます。

6~7月 ゼミ発表会のテーマを、ゼミ生との話し合いで決定します。

7~11月 ゼミ発表会の本番に向けて準備を進めます。

11~1月 ゼミ発表会の終了後は、再び文献講読に戻ります。文献を読みつつ、次年度の方向性について検討します。

ゼミ長

和中 柁真

商学部 会計コース 3年  
世田谷泉高校出身  
簿記会計研究会



副ゼミ長

安藤 孝行

商学部 マーケティングコース 3年  
鳩ヶ谷高校出身



三上 廣大

商学部 マーケティングコース 2年  
京華商業高校出身



櫻井 華月

商学部 マーケティングコース 3年  
府中高校出身  
ダンス同好会





学生のみさんの留学体験をレポート。  
みなさんのがんばりを全力で応援します。なんでも相談ください！



## 本学の就職支援

2025年卒の就職状況は11月時点で内定率80%を超え、昨年に引き続き高い内定率を維持しています。未内定者・未報告者も減少しているため、9月には学内の企業説明会を終了し、10月以降は一人ひとり個別支援で対応しています。未内定者との面談では、やりたいことが見つからないため就職活動ができていないという声をよく耳にします。企業説明会へ参加する等行動を起こすことで、興味が湧くことや、就職活動の軸が定まることも少なくありませんのでまずは行動してみましよう。何から始めたらいいかわからない方は是非就職支援課へご相談ください。

2026年卒の就職活動も本格的にスタートし、既に早期選考が始まっています。授業期間中のため、授業終了後に大学でオンライン面接を受けたいと申し出る学生が日に日に増えてお

り、今年4月より設置した就職活動用の教室の貸し出しを行っておりです。

既に内定も始めているはありますが、安易に就職先を決定せず、しっかりと業界研究・企業研究を行い、納得した上で進路を決定していただきたいと思っております。

学内でも学生のニーズを把握した上で、卒業生の活躍している企業との出会いの場を多く提供していきたいと考えています。



(上) 学内合同企業説明会  
(右) 採用担当者との面接トレーニング

### 就職活動体験談



原口 純一  
商学部 マーケティングコース 4年  
東京農業大学第一高校出身  
庄司ゼミ  
体育会本部、卓球部

内定先  
サトーホールディングス株式会社

私は大学3年生の1月までどの業界を受けるか決めていませんでした。進路について悩んでいた際、就職支援課へ相談に行ったところ親身にアドバイスをいただき行動を起こすことができました。就職活動は不安に思うことや行き詰ることも多くあります。就職支援課や家族、先輩、友人など、多くの人と話すことで自分が知らなかった価値観を得ることができ、それがきっかけで自分の考えがまとまったりするので、どんどん相談して言葉にしていくことをお勧めします。



毒島 友音  
経営学部 企業経営コース 4年  
足利短期大学附属高校出身  
村上ゼミ  
軽音楽研究会

内定先  
HAMAYAホールディングス株式会社

私は大学2年生の秋から少しずつ活動を始め、3年生の夏にはインターシップなどに参加し始めました。分からないことばかりの私を助けてくれたのは、友達と就職支援課でした。同じ環境で頑張っている友達と息抜きにカフェで作業しながら話したり、的確なアドバイスをくださる就職支援課に相談したりすることで不安が解消され、自信を持って就職活動を進めることができました。皆さんも不安な時こそ相談と、時には自分を褒めてあげながら進めてみてください。

### 海外留学体験談 2024年8月に台湾・東呉大学へ3週間の留学プログラムに参加しました！

内海 史杏  
人間科学部  
心理・コミュニケーションコース 2年  
星槎国際高校出身  
小向ゼミ



台湾に到着後、まず感じたのは交通量がとても多いことです。日本よりも交通量が多く見られ、危険な場面が沢山ありました。私たちは、東呉大学内にある寮に滞在し、部屋は2人部屋で初対面の相手との相部屋でした。私のルームメイトは、沖縄から来ていた同い年の女性でした。ほかには、広島・新潟やアメリカ・韓国など様々な場所から学びに来ている仲間がいました。言語クラスでは基本的な文法とともに中国語をピンインなしで読む練習をしました。文化クラスでは台湾で有名な「茶」の体験や博物館、ローカルスイーツの手作り、ネギ農場、川下りなどのさまざまな授業が準備されておりとても楽しかったです。現地の方々と中国語でお話できた際はとても楽しく、「中国語上手に話せてるよ!」と何度も言って貰えるようになりとても嬉しく感じました。短い間ではありましたが、たくさんの思い出が詰まった良い留学にすることができました。

小澤 恵  
人間科学部  
心理・コミュニケーションコース 2年  
歴代南高校出身  
吉原ゼミ



東呉大学での授業では、午前は言語クラス、午後は文化体験や会話クラスでした。私は先生が言っていることが分からないことが多かったので、劣等感を覚えることが何度もありました。周りより基礎ができていなかった分、授業内で理解できることも限られてしまったので、もっと基礎を固めていくべきだったと思いました。文化体験では、川下りやバイナッブルケーキ作りなどをしました。やはりどの体験も、自分が台湾にただ旅行に行っただけでは体験しようと思いつかないものだったと思います。だからこそ、台湾留学に行ったことによりできた友人たちと様々な貴重な体験ができましたし、先生や周りの人のおかげで最後まで楽しく授業を受け3週間の成果を最終日のプレゼンで発表することができました。授業内での文化体験以外にも、休日には友人と台湾の様々なところを周れたので、台湾の文化をたくさん感じてこれたと思います。

### 学生時代に海外へ!留学に挑戦しよう ~2025年度海外留学生を募集します!~

Point! ▶ 休学をせずに留学ができます! | 単位が認定されます! | 留学先の授業料を高千穂大学が奨学金として補助します! | 事前事後研修で留学準備のサポートが受けられます!

▼ 応募期間  
短期留学(ビクトリア大学・東呉大学)  
2025年4月28日(月)~5月12日(月)  
中期留学(ビクトリア大学)  
2025年2月12日(水)~2月26日(水)



応募の詳細は大学HPへ!

▼ ビクトリア大学(カナダ)  
2月の4週間短期留学と10月~12月の中期留学があります。ホームステイしながら英語を学びます。カナダは治安が良く、人々もフレンドリーなので海外が初めての人も安心です。

▼ 東呉大学(台湾)  
8月3週間の短期留学です。東呉大学内の学生寮に滞在し、中国語を学びます。東呉大学の学生との交流があったり文化体験も充実しています。

### JSAFの留学もあります!

JSAF(一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション)は高千穂大学とパートナー協定を交わしています。奨学金や単位認定はありませんが、国や留学期間の選択肢がとても多く、カウンセリングを通して希望に合ったプログラムを紹介していますので初めて留学に挑戦したい方にも安心です。興味のある方は高千穂大学の学生と伝えて直接カウンセリングの申込をしてください。



JSAFの語学留学部門ACEJのWebサイト



### 資格取得のすすめ

#### WEB資格講座



スキマ時間を活用して資格をとろう!  
高千穂大学の学生ならどなたでも申し込めます。

11,000円で1年間25講座が受け放題!

資格の詳細等はこちら



申込フォーム

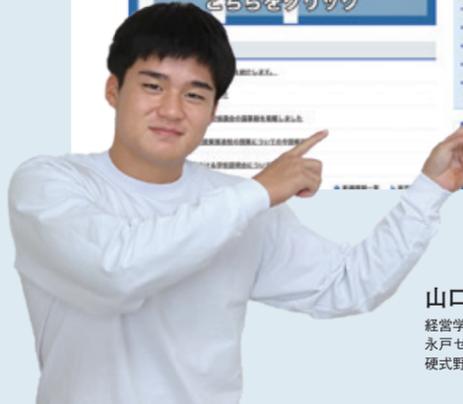


### 2024年度 就職支援行事スケジュール

日程	時間	行事名	内容	対象
1月14日(火)	13:00~14:30	プレ就職ガイダンス	2年生を対象に、就活市場の現状や今後の展望、学生生活の過ごし方を説明します。	2年
2月10日(月)・2月12日(水)・2月14日(金)	13:00~15:30	企業セミナー	本学と関わりの深い企業を中心に招聘し、説明していただくことで企業理解に繋がります。	3年
2月17日(月)・2月18日(火)	未定	就職活動直前対策	就職活動直前に必要なセミナーや実践講座を行います。	

※行事予定は今後変更になる可能性があります。

生田東高校



山口 卓哉  
経営学部 企業経営コース 2年  
永戸ゼミ  
硬式野球部

永山高校



田中 玲麗  
商学部 マーケティングコース 2年  
永井ゼミ  
ダンス同好会

高校時代

高校時代で特に思い出に残っているのが、体育祭と部活動です。部活動では、3年間野球部に所属しておりポジションは外野手でした。3年生の時の県大会2回戦で、優勝候補の高校と対決し、強豪校のピッチャーからヒットを打ったことが思い出に残っています。また、体育祭では3年次に応援団長を務め、応援最優秀賞を受賞しました。

先生へのメッセージ

大学では教員を目指しています。大学野球でもレギュラーを目指して練習しているので応援してください！

思い出

体育祭の後、仲のよい友達と集まって撮った写真です。最後のリレーで初めて1位でゴールできました。



母校の特長 B.F.S.T.3

- 1 自由に生活できる
- 2 先生が優しい
- 3 体育祭が盛り上がる



高校時代

高校時代に過ごした3年間はコロナ禍で思うような高校生活を過ごせませんでしたが、より良い3年間を過ごすためにダンス部に所属し、部員のみなどと活動に励みました。唯一コロナ禍の中で開催できた体育祭では、高校の伝統であるムカデ競走が思い出になりました。そして3年次の集団演技でダンスの副団長を務め、制限のあった高校生活の中で充実感を感じられました。

先生へのメッセージ

進路指導である高畑先生に毎日面接の指導を見てもらい無事、大学に入学することができました。

思い出

ダンス部で文化祭の公演に向けて練習に励み沢山の思い出ができ、この高校に通えて良かったと思っています！



母校の特長 B.F.S.T.3

- 1 校舎が改装され綺麗に
- 2 サッカー部が強く、他部活も積極的に活動
- 3 おもしろい先生や面倒見の良い先生が多い

学友会本部 新役員紹介

新会長の抱負



相馬 真斗  
経営学部 企業経営コース 3年  
小川高校出身

この度、第29代学友会会長に就任しました相馬真斗です。私は昨年の10月まで高千穂祭本部の委員長として、高千穂祭の実施に向けて様々な準備、活動をしてきました。学友会本部の活動としては、学生により良い学生生活を送ってもらえるように何が必要かを第一に考え、企画運営をおこなっていきます。私たちの代では、新役員全員で団結をし、これまでの良い点は今後も継続しつつ、改善が必要な点については改善し、昨年できなかったことや新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。在学生の皆さんが、より良い学生生活を送れるよう役員一同皆さんに寄り添いながら学友会の活動をしていきます。第29代学友会本部をよろしく願っています。

前会長挨拶



任 珉善  
経営学部 企業経営コース 4年  
甲府商業高校出身

1年間の振り返りと新体制へのメッセージ  
第28代学友会本部は様々な活動を通して、たくさんの方を学び、育み、役員と共に協力しあってきました。1年と短い間でしたが、第28代学友会本部は多くのことを成し遂げることができたと思います。第29代学友会本部は優秀な後輩が多く所属しています。色々不安があるかとは思いますが、自分を信じてこれからの学友会活動に励んでいけるよう応援しております。



第29代 学友会副会長・局長

- 書記局長 石井 航太 (経営学部 起業・事業承継コース 2年 東京学館船橋高校出身)
- 広報局長 小原 麻衣 (人間科学部 社会・ライフデザインコース 2年 柏木学園高校出身)
- 会計監査局長 中村 綾 (経営学部 企業経営コース 2年 芝商業高校出身)
- 会計局長 藤原 菜 (経営学部 起業・事業承継コース 2年 横浜桜陽高校出身)
- 企画局長 樋口 凱琉 (人間科学部 心理・コミュニケーションコース 2年 武相高校出身)
- 副会長 内田 凌誠 (人間科学部 心理・コミュニケーションコース 3年 羽村高校出身)

第29代 学友会役員

- 会計局 奥村 さくら (商学部 マーケティングコース 2年 川崎北高校出身)
- 会計局 金子 豊隆 (商学部 マーケティングコース 3年 宇都宮短期大学附属高校出身)
- 企画局 古江 莉菜 (商学部 マーケティングコース 3年 厚木商業高校出身)
- 企画局 香西 美憂 (商学部 会計コース 3年 堀越高校出身)
- 企画局 菊池 翔馬 (商学部 マーケティングコース 2年 新産総合技術高校出身)
- 広報局 岩井 快治 (経営学部 経営学科 1年 梓島高校出身)
- 広報局 鈴木 貴久 (経営学部 起業・事業承継コース 2年 中央学院大学中央高校出身)
- 会計監査局 若松 世亜 (経営学部 商学科 1年 屋久島おおぞら高校出身)
- 会計監査局 遠田 種恵 (商学部 マーケティングコース 2年 大塚高校出身)
- 会計局 四方田 紗季 (商学部 商学科 1年 大田桜台高校出身)
- 書記局 石塚 詩音 (人間科学部 人間科学専攻 1年 千歳丘高校出身)
- 書記局 東海林 伸佑 (人間科学部 社会・ライフデザインコース 2年 豊南高校出身)
- 広報局 山形 果恋 (商学部 高学科 1年 飛鳥未来きずな高校出身)
- 広報局 廣瀬 幸恵 (人間科学部 人間科学専攻 1年 八潮高校出身)

# TAKACHIHO INFORMATION

## 入試課

**1月**  
大学入学共通テストおよび本学入試日は大学構内は立入禁止となります。  
1月18日(土)・19日(日)大学入学共通テスト  
1月25日(土)・26日(日)大学入学共通テスト(追試験、再試験の場合)  
1月27日(月)一般選抜ベスト2教科、英語・国語Ⅰ期  
1月31日(金)一般選抜英語・国語Ⅱ期、総合型選抜第4回  
**2月**  
2月2日(日)大学院学内入試第3回、修士課程Ⅱ期、特別研究生Ⅱ期、博士後期課程  
2月16日(日)オープンキャンパス、合格者対象大学見学・個別相談会  
2月19日(水)一般選抜英語・国語Ⅲ期、特別選抜(帰国子女/留学生)Ⅱ期、総合型選抜第5回、チャレンジ特待生  
**3月**  
3月4日(火)大学院修士課程Ⅲ期  
3月6日(木)一般選抜英国数セレクト1教科・小論文、総合型選抜第6回  
3月15日(土)合格者対象大学見学・個別相談会  
3月22日(土)オープンキャンパス  
3月25日(火)タカチホ・スプリングスクール

## 教育研究事務局

**●2025年度海外留学生募集プログラム募集中です。(カナダ・台湾)**  
応募べ切は中期留学2月26日(水)、短期留学5月12日(月)です。  
海外留学に関心のある方はこちらの募集要項をご覧ください  
**●TOEIC IPオンラインテスト(オンライン受験)**  
高千穂大学の海外留学応募にこちらのスコアが使えます。留学を考えている方だけでなくTOEICのスコアアップを目指したい方、積極的に活用してください。  
申込べ切 1月28日(火)  
受験期間 2月12日(水)～2月26日(水)  
受験料 4,230円  
(公開テストは7,810円)  
TOEIC IPオンラインテストの申込はこちら▶

## 図書館

**●年始の開館日**  
年始は1月10日(金)から開館します。  
**●定期試験での図書持ち込み**  
図書館所蔵の貸出図書は、定期試験において持ち込み禁止となっておりますので、ご注意ください。  
**●1月～3月の閉館日**  
本学の入学試験実施日(大学入学共通テストを含む)図書館蔵書点検日(2月中旬予定)  
2月・3月の日曜と祝日  
**●図書館の開館情報**  
開館情報はホームページ「https://takachiho.opac.jp/opac/Calendar/」で公開しています。  
開館情報を確認の上、ご来館ください。  
図書館開館情報はこちら▶

**●卒業対象者の返却期限**  
卒業対象者は貸出図書について秋学期卒業認定者発表日(月上旬)までに必ずご返却ください。

## 情報メディアセンター

**●Wi-Fiの利用**  
Wi-Fiは学内のほぼ全域をカバーしています。Wi-Fiの利用方法やアクセスポイントの設置箇所・対応規格等については大学ホームページ掲載の「情報メディアセンター利用の手引き」をご覧ください。  
**●コンピューター機器の貸出し**  
情報メディアセンターでは、ノートパソコン、ヘッドセット、モバイルルーター、プロジェクター、レーザーポインター、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、USB SSD/HDD、USBカードリーダーなどの貸出しを行っています。通常期の貸出し期間は1週間ですが、春季特別貸出しとして2月1日(土)～3月17日(月)は2週間以内となります。「情報メディアセンター利用者票」と引換えに貸出しを受けてください。  
**●コンピューター室の開放**  
授業で使用していないときは、自学自習のためにコンピューター室を開放しています。  
通常期の開放時間は、平日9時～19時、土曜日9時～12時です。春季休業中は次の時間となります。

2～3月 平日9時～17時、土曜日9時～12時  
※学内入試日、祝休日の開放はありません。  
コンピューター室開放情報は、ホームページ「https://www.takachiho.ac.jp/openlab/」で公開しています。



コンピューター室開放情報はこちら▶

## ●卒業生の皆様へ

3月31日をもって、大学から付与されているアカウントの利用資格が失効します。  
必要な方は、3月中に各自でバックアップをお取りください。メールは、9月末まで、指定されたメールアドレスへ転送するサービスを行っております。必要な方は、「電子メール転送依頼(利用資格失効)」をご提出ください。  
大学のアカウントでご自身のPCにMicrosoft 365をインストールされている方は、PC購入時に付属していたMicrosoft Officeやご自身で購入・契約されたMicrosoft Officeに切り替えてください。

## 教務課

### ●試験(授業内試験、定期試験)について

①授業内試験  
授業内に行われる試験のことで、各授業の教員から授業中に案内されます。  
②定期試験  
期間:1月21日(火)～27日(月)  
※1月25日(土)、27日(月)は除く  
実施時間:定期試験実施時間は通常の授業時間帯と異なるので注意してください。  
1時限 9:30～10:30、2時限 10:50～11:50、  
3時限 12:30～13:30、4時限 13:50～14:50、  
5時限 15:10～16:10、6時限 16:30～17:30、  
7時限 17:50～18:50  
※定期試験日程表はT-Navi、掲示板で公表します。  
※その他の詳細はT-Navi、履修要項をご覧ください。

### ●教務関連スケジュール

※詳細はT-Naviをご覧ください。  
1月15日(水) 卒業論文提出期限  
1月20日(月) 秋学期授業終了日  
1月21日(火)～27日(月) 秋学期定期試験  
2月3日(月)～5日(水) 秋学期追試験  
2月中旬 秋学期web成績開示  
2月中旬 秋学期4年生再試験  
3月上旬 秋学期成績表送付、  
秋学期卒業認定者発表  
3月20日(木・祝) 卒業式

## 学生課

### 【硬式野球部】

2024年東京新大野球連盟秋季リーグ戦2部  
2024年9月8日(日)高千穂大学3対5東京学芸大学 ●負け  
2024年9月15日(日)高千穂大学9対10東京都立大学 ●負け  
2024年9月21日(土)高千穂大学9対0東洋学園大学 ○勝ち  
2024年9月22日(日)高千穂大学33対3東洋海洋大学 ○勝ち  
2024年9月29日(日)高千穂大学6対1工学院大学 ○勝ち  
2024年10月13日(日)高千穂大学対東洋海洋大学(不戦勝) ○勝ち  
2024年10月14日(月・祝)高千穂大学0対2東洋学園大学 ●負け  
2024年10月19日(土)高千穂大学3対5東京都立大学 ●負け  
2024年10月20日(日)高千穂大学9対1東京学芸大学 ○勝ち  
2024年10月26日(土)高千穂大学7対0工学院大学 ○勝ち

6勝4敗で2位となり、2部残留  
2024年三高高定期戦  
2024年8月2日(金)高千穂大学3対7千葉商科大学 ●負け  
1位 千葉商科大学  
2位 高千穂大学  
3位 東京経済大学(不戦敗)  
【アメリカンフットボール部】  
2024年関東学生アメリカンフットボールリーグ戦3部Dブロック  
2024年9月15日(日)高千穂大学0対34流通経済大学 ●負け  
2024年9月29日(日)高千穂大学0対29工学院大学 ●負け

●負け  
2024年10月13日(日)高千穂大学0対47東京農科大学 ●負け  
2024年10月27日(日)高千穂大学0対28東京理科大学 ●負け  
2024年11月24日(日)高千穂大学0対24新潟大学 ●負け  
2024年12月8日(日)高千穂大学0対31獨協大学 ●負け  
0勝6敗で7位となり、3部残留  
2024年三高高定期戦  
2024年6月1日(土)高千穂大学0対7東京経済大学 ●負け  
2024年6月16日(日)高千穂大学0対14千葉商科大学 ●負け  
1位 千葉商科大学  
2位 東京経済大学  
3位 高千穂大学

### 【卓球部】

2024年秋季関東学生卓球リーグ戦男子5部Cブロック  
2024年9月21日(土)高千穂大学1対3成城大学 ●負け  
2024年9月21日(土)高千穂大学1対3東薬科大学 ●負け  
2024年9月22日(日)高千穂大学2対3白鷲大学 ●負け  
2024年9月22日(日)高千穂大学1対3東京学芸大学 ●負け  
2024年9月22日(日)高千穂大学3対1東京医科歯科大学 ○勝ち  
1勝4敗で6位となり、5部残留

### 【和弓部】

2024年東京学生弓道連盟第71期リーグ戦男子5部Aブロック  
2024年9月15日(日)高千穂大学31対69国士館大学 ●負け  
2024年9月22日(日)高千穂大学42対74大正大学 ●負け  
0勝2敗で3位となり、5部残留  
2024年三高高定期戦  
2024年6月23日(日)  
1位 千葉商科大学 38中  
2位 東京経済大学 25中  
3位 高千穂大学 20中  
(全60射)  
【排球部】  
2024年秋季関東大学男子バレーボールリーグ戦8部  
2024年9月28日(土)高千穂大学0対2文京学院大学 ●負け  
2024年9月28日(土)高千穂大学1対2武蔵野大学 ●負け

2024年10月12日(土)高千穂大学0対2淑徳大学 ●負け  
2024年11月9日(土)高千穂大学1対2大正大学 ●負け  
2024年11月9日(土)高千穂大学1対2東京理科大学 ●負け  
0勝5敗で6位となり、8部残留  
**●1月10日～3月末までの行事予定(学生課)**  
・定期健康診断 2025年2月17日(月)  
学部3年生以上・大学院生のうち2025年度在学予定の方を対象に、定期健康診断を実施します。(学部1～2年生は4月に別途実施します)  
詳細はT-Naviにてご案内いたしますのでご確認ください。

## 就職支援課

**対象:2年生**  
●**プレ就活ガイダンス**  
1月14日(火)13:00～14:30  
**対象:3年生**  
●**企業セミナー**  
2月10日(月)・12日(水)・14日(金)13:30～15:30

## 同窓会

●**祝 卒業 同窓会 新入会員歓迎会開催**  
同窓会主催のお祝いイベントです。飲み物や食べ物もいっぱい用意しておりますので、ぜひご参加ください。  
3月20日(木・祝)卒業式終了後、セントラルスクエア4階です。詳細な時間等は、後日ホームページにてご案内します。

## 父母の会

●**2年生保護者対象就職ガイダンス開催(申込制)**  
2025年3月8日(土)  
学生の就職活動について保護者の心構えや役割、最新の情報をお伝えするガイダンスを開催。  
2月上旬に保護者宛てに郵送のご案内をお送りいたします。

# GRADUATE INTERVIEW

高千穂卒業後、さまざまな分野で活躍している先輩達からエールを届けます。



## 「気概ある常識人」の育成を目指して



写真(左)3年次5月の雲取山合宿が終わり下山。奥多摩駅到着時の一場面。  
写真(右)ワンゲル部室内で。後期試験の出来を聞かれてポーズをとったところ。

私が高千穂商科大学への進学を決めた理由の一つに「商業科教員になりたい」との強い希望がありました。当時の私は高校卒業後は就職と決めていましたので、地元の商業高校へ進学しました。そこで学んだ商業科目はどれも新鮮で、とりわけ「簿記会計」の奥の深さに興味をもったことを今でも鮮明に記憶しています。また、ご教授いただいた担当の先生の人柄にも好感を持ち、「商業科の教員になってみたい」という明確な夢を持ちました。

大学入学直後の部活動勧誘時、高校時代にボート部であった私は、体育会には

格好の新生だったと思います。少林寺拳法部、スキー部、ワンゲル部に声をかけられ穏やかな先輩との印象を受けたワンダーフォーゲル部に入部しました。が、入部直後の6月合宿で40kg近い荷物を担いでの山行で自分の選択を随分と悔いまして。そんな部活を継続できたのも山頂で観た雲海、星空、そして体育会の仲間、先輩方のお陰と今では感謝をしています。

さて4年次の昭和61年当時、バブル景気で、同期の殆どは民間に多くの内定を貰っていましたので、合格した私に「(給料の少ない)教員になるのか?」と不思議

がられました。夢の実現は、嬉しさよりも不安ばかりのスタートでした。

あれから38年の教員生活が過ぎました。県内10校の高校に勤務し、数多くの生徒や保護者、先生方に支えられ現在に至っています。私の教員生活の根底には「気概ある常識人の育成」が今でもあります。高千穂大学の教育指針を、私はプライベートポリシーとしています。残り少ない教員生活ですが、最後までこのポリシーの体現に向け努力、実践していきたいと思っています。母校、高千穂学園の益々の発展をいつまでも祈念しております。

Name	藤森 雅彦
Work Place	埼玉県立岩槻商業高等学校
Job	校長
Profile	1987年3月 商学部卒業 福井ゼミ ワンダーフォーゲル部 藤森校長は、昨年10月19日開催の「同窓会ビジネス交流会」において、教育機関代表のパネラーとしてご登壇され、途中から壇上で立ち上がり、学風の3つの目標の一つである「気概ある常識人」という文言が高千穂入学の決め手だった等の熱弁をふるい、高千穂愛あふれるナイスガイぶりでした(寺尾誠同窓会会長)。



# 父母懇談会開催報告

2024年9月8日(日)、父母の会主催の父母懇談会が高千穂大学にて開催され、86名の保護者の方々にご出席いただきました。

午前中はお子様の学部別に分かれ「交流会」を開催しました。交流会前半は保護者同士で親睦を深めていただき、後半は教職員が同席し保護者と質疑応答を行いました。

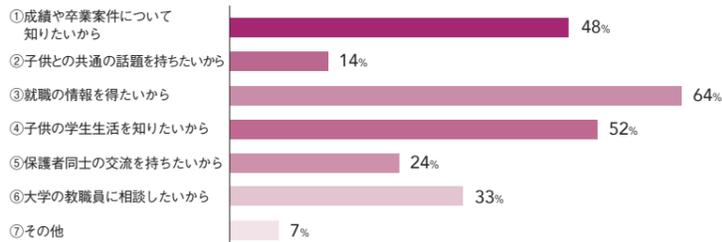
午後は、「教務に関する説明(4年間の過ごし方、卒業に向けて)」「就職支援についての説明」各学部の4年生3名による「就職活動体験報告」を実施し、希望者には、お子様のゼミ担当教員との面談、及び大学職員との個別相談を行いました。参加された方には、お子様の「春学期授業出欠状況表」をお渡ししました。



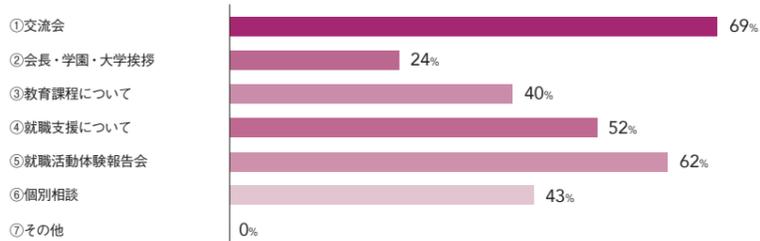
## アンケートの結果

参加された方にアンケートにご協力いただきました。

### 父母懇談会に参加された理由は何ですか? (複数回答可)



### 父母懇談会に参加してみてよかった内容は何ですか? (複数回答可)



## 父母懇談会に参加された方の感想

- 参加して良かったです。不安に思っていたことが解消されました。
- 交流会で皆様同じような悩みをお持ちでしたので、同じ目線で相談できました。とても有意義な会でした。
- 就職活動体験談は毎年参考になっています。
- 学校のことがよく理解できました。
- 個別相談でゼミの先生とお話をさせていただき、子供の様子を知ることができました。

## 開催報告

### 「2年生保護者対象就職ガイダンス」開催

日時▶2024年3月9日(土)

父母の会では、2年生保護者を対象に、就職活動において保護者としての心構えや役割を理解し、最新の情報を知っていただく機会として、就職支援課・就職委員会にご協力いただき、就職ガイダンスを実施しています。

今年度は、(株)マイナビ松本勢以氏を講師にお迎えし、「現在の就職環境とスケジュール」就職活動における保護者の関わり方について」の講演をしていただきました。その後、永戸哲也就職委員長より「高千穂大学の就職支



援一についての説明、3年生2名に就職活動の体験談についてお話ししていただきました。また事前にお申込みいただいた方へ個別相談を行いました。

参加された方からは「今の就職活動の流れがわからなかったのもとても参考になりました。」「親としてできる限り支援してやりたいと思いました。」「等」と感想をいただきました。

### 「新入生保護者オリエンテーション」開催

日時▶2024年6月8日(土)

新入生保護者を対象にオリエンテーションを開催しました。

午前中は学食体験が行われ、希望された方に、学生に人気のあるメニューを食べていただきました。

午後は、交流会を行い保護者同士の親睦を深めていただきました。その後、学生の案内によるキャンパスツアーに参加していただき、「大学の見学ができてよかった。説明が分かり



やすかったです。」「学生の生の声が聞けて色々な安心することができました。」「等の感想をいただきました。

全体会では、父母の会副会長嘉瀬英昭教授より「授業・学生生活・就職について」の説明がありました。その後の個別相談(希望制)では、保護者としての「学生生活の疑問」や「不安」について熱心に相談されていました。

2024年度郷土企画

開催日	地域・商品名	
5月16日(木)	神奈川県	鳩サブレー
6月14日(金)	東京都	ヤマザキのパン
7月18日(木)	千葉県	びわゼリー・銚子電鉄ぬれせんべい
9月23日(月・祝)	山形県	ラ・フランスと桃とりんごジュース
10月23日(水)	九州シリーズ	高千穂釜茶・ドーナツ棒
11月13日(水)	北海道シリーズ	じゃがポックル・いもこまち
12月4日(水)	石川県	揚げあらびーバー



郷土企画とは、学生の健全な食生活の支援と郷土を懐かしむ名産品紹介を目的に、昼食時に各地の特産品を無料で父母の会より学生に提供する企画です。開催は、ポスター掲示やインスタグラム等でお知らせしています。

父母の会の行事である郷土企画が今年度は7回行われました。その内、私は6回参加しました。

郷土企画は、父母の会役員が学生一人ひとりにお菓子などを手渡しします。「やっぴー」「美味しそう」「……」様々な学生の反応を見ることができ、直接関わってとても楽しかったです。6回も参加すると見覚えのある学生もいて、見かける度に成長を感じ嬉しかったです。

配布する品は父母の会役員が決めていますが、大人すぎる私達と学生の食の好みは違うと思うので、学生の好みに寄せたであろうチョイスをしました。あれこれ悩みながら選ぶのも楽しみのひとつでした。12月は能登半島の復興に少しでも力になればと石川県の揚げあらびーバーを配布しました。

学生がもっと大人になり、いつか手にしたお土産に「懐かしい！大学の郷土企画でもらった」と大学生活の思い出のひとつになればいいなと思います。



高千穂祭を盛り上げることを目的として、模擬店で使用できる金券（一人あたり1000円）を、父母の会役員の方々に協力いただき、学生に配布しています。今年度は2日間で835名分の金券を配布しました。



毎年3月に2年生保護者向け就職ガイダンスを実施しております。これは3年生になり、すぐにインターンシップ活動が始まるので、その準備をしていただくことを主な目的としております。詳細につきましては、2月上旬に郵送で案内をお送りいたします。

開催予定  
2年生保護者対象  
「就職ガイダンス」

日時・2025年3月8日(土)  
場所・高千穂大学

郷土企画開催

郷土企画とは、学生の健全な食生活の支援と郷土を懐かしむ名産品紹介を目的に、昼食時に各地の特産品を無料で父母の会より学生に提供する企画です。開催は、ポスター掲示やインスタグラム等でお知らせしています。

みんなが楽しい郷土企画

父母の会の行事である郷土企画が今年度は7回行われました。その内、私は6回参加しました。

父母の会からのお知らせ

大学祭支援

高千穂祭を盛り上げることを目的として、模擬店で使用できる金券（一人あたり1000円）を、父母の会役員の方々に協力いただき、学生に配布しています。今年度は2日間で835名分の金券を配布しました。

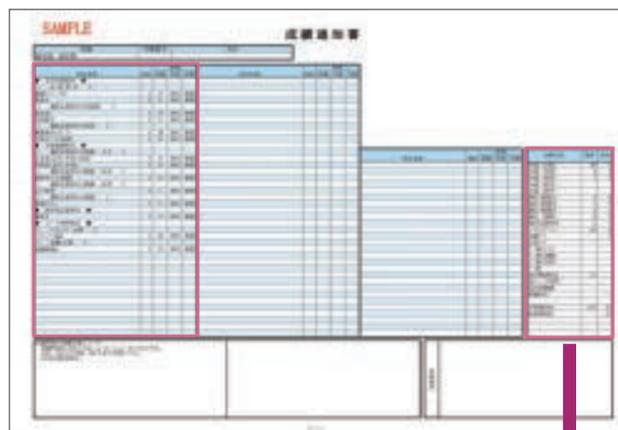


成績通知書の見方について

2024年度秋学期の授業も残り約1ヶ月となりました。3月上旬には保護者の皆様にも成績通知書を送付いたします。そこで、今号では、成績通知書と卒業要件の見方について、教務課よりご説明いたします。

まず、左の成績通知書の右端の拡大部分が左の表となります。

黄色部分「卒業要件計124」とは、学生が卒業するのに必要となる単位数の合計であり、本学学則に合計単位数を124単位と定めています。赤色部分の「分野区分」と青色部分の「要件」欄にある数字は学生が履修しなければならぬカリキュラム上の「分野区分」とその「分野区分」において卒業に必要な単位数を示し



分野区分	単位数	要件
共通<必修>	10	10
共通<外国>	4	3
共通<体育>	2	2
共通<総合>		
共通<留学>		
選必<教養人文領域>	4	6
選必<教養社会領域>	4	6
選必<教養自然領域>	4	6
選必<情報科目>	8	6
商学必修科目	2	2
マーケティングコース		16
金融コース	28	30
会計コース		4
ゼミ群(マナ)		
ゼミ群(金融)		8
ゼミ群(会計)		
ゼミ群		
商学関連科目	12	10
他コース専門		
他学部聴講	4	
教職科目		
卒業要件計	124	113
総取得単位		113

<卒業要件表の区分>  
 全学共通科目(必修) 外国語科目  
 全学共通科目(選択必修) 体育科目  
 全学共通科目(選択必修) 総合科目  
 全学共通科目(選択必修) 留学生科目  
 商学部/経営学部/人間科学部 基礎科目(選択必修)  
 商学部必修科目  
 他コース専門科目  
 金融コース専門科目  
 他コース専門科目  
 ※学部により表示内容が異なりますが、卒業要件の区分との見方は同一です。

※ご注意 本誌面では、商学部金融コースを例(ダミー)としてご説明いたします。学部、コースにより「分野区分」の名称、「要件」欄の数字、その他条件等が異なりますのでご了承下さい。なお、限られた誌面では、個別具体例の全てを説明することはできません。つきましては、成績通知書がお手元に届きましたら必ず「履修要項」の該当ページ又は以下のQRコードのリンク先とともに、ぜひご子息、ご子女とともにゆくりとご確認いただきますようお願いいたします。

各学部の卒業要件



参考：  
本学ホームページ「大学案内」→「情報公開」→「Ⅱ-4学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準」または履修要項の各学部の「卒業要件」のページ

位以上となれば卒業要件を満たすこととなります。

ここで注意いただきたい点は、学部、コースによって必ず修得しなければならない科目があります。「有効」欄の単位数が「要件」欄の数字を上回っていても、この科目が修得できていない場合は卒業要件を満たしていません。過去にこのようなケースで卒業できなかった学生がいましたので、十分に注意して下さい。

また、教員を目指す学生が履修する教職科目は卒業要件124単位に含まれません。誌面の都合上、各学部、各コースの卒業要件の詳細は省かせていただきます。ご質問等ございましたら父母の会事務局もしくは教務課にお問い合わせ下さい。

っており、その合計単位数は78単位となります。つまり、124単位のうち78単位は大学が定めた「分野区分」から受講する科目(授業)を選び、残り46単位については、自分が学びたい科目(授業)を選択し、124単位修得すれば卒業要件を満たしたことになります。修得した単位数は緑色部分「有効」欄に記載され、学年が進むにつれて増えていくこととなります。

本例は、商学部金融コースの学生です。「分

野区分」「金融コース」の「要件」欄は28単位(金融コース)の必要最低修得すべき単位数、「有効」欄は30単位です。要件を満たしていることとなります。「有効」欄の数字が28単位未満の場合は、要件を満たしていない卒業できないということになります。

「分野区分毎の要件(78単位)を満たし、自分が学びたい科目(授業)46単位を満たし合計単位数(卒業要件計)「有効」欄単位数が124単

高千穂大学 父母の会・事務局  
 〒168-8508 東京都杉並区大宮2丁目19番1号  
 TEL 03-3313-0432 FAX 03-3313-0432 E-mail fubokai@takachiho.ac.jp

父母の会に関するお問合せは、こちらまでお願いします。